



# 令和5年度の主な取組内容について

注) ( )数字は、熊本県北地域の取組目標達成に向けた3本柱の数字

## ■防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

○各自治体の防災イベントへの参加や、地域住民等を対象とした、防災講習や体験型防災講座を実施した。



令和5年6月 防災講習  
(対象者：山鹿市菊鹿地区地域住民)



令和5年6月 防災フェア  
(主催：熊本市植木町田底校区)



令和5年9月 あらお防災フェスタ  
(主催：荒尾市)



令和5年11月 菊池市総合防災訓練  
(主催：菊池市)



令和5年11月 北区子どもまつり  
(主催：北区子どもまつり実行委員会)



令和6年1月 山鹿市防災のついで  
(主催：山鹿市社会福祉協議会)



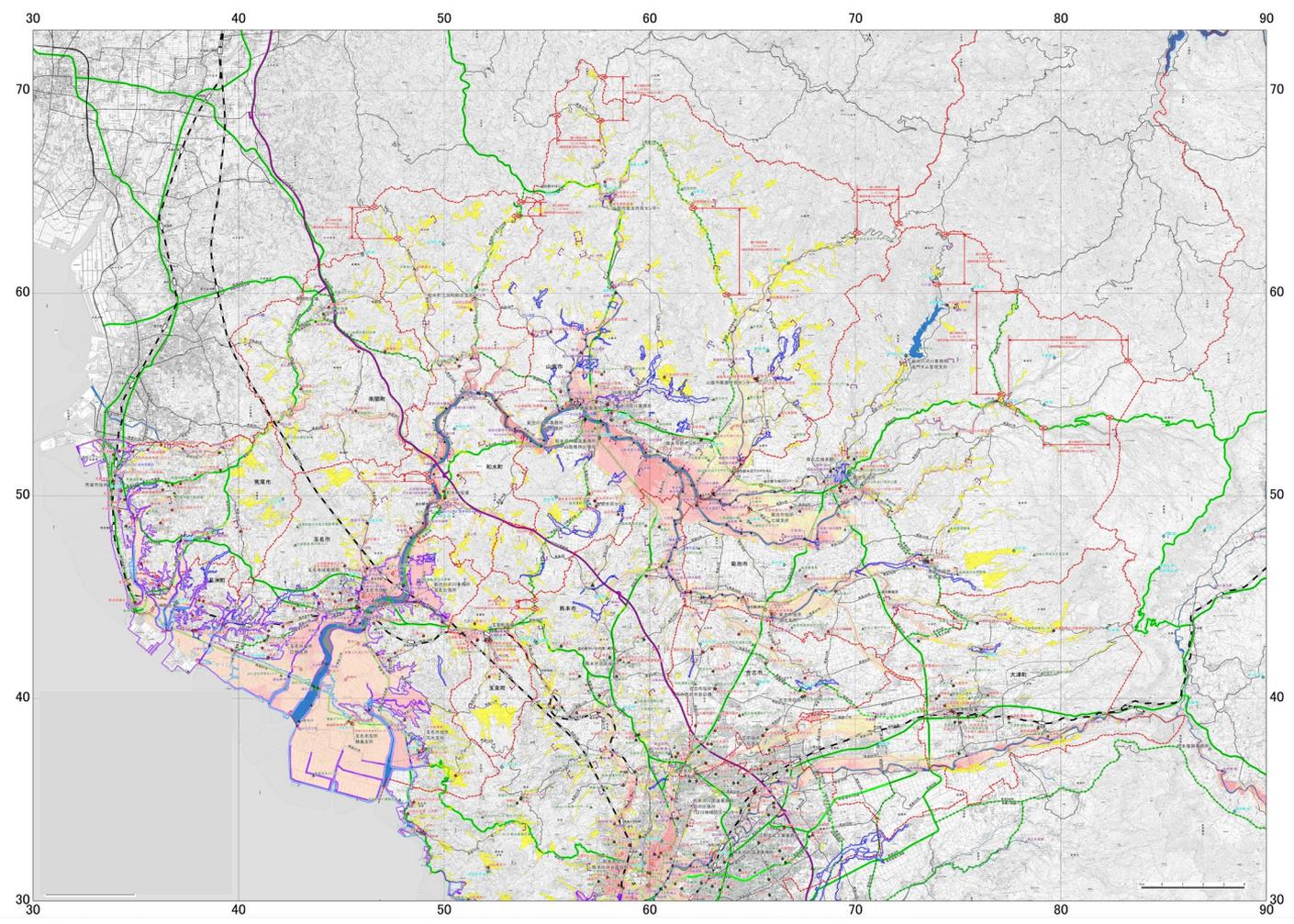
# ■各自治体が広域的に連携できるための仕組みづくり【避難計画】(1、2)【全関係機関】

## ■熊本県北地域全体の自然災害による被災履歴等災害情報を表示した広域ハザードマップの検討、作成

○大津町内管理河川の想定最大規模洪水浸水想定区域の追加、ため池ハザードマップ、土砂最大警戒区域・特別警戒区域の情報を更新するなど、広域ハザードマップの更新を行った。

- 凡例**
- : 市町村界
  - : 避難所
  - : 避難所 (洪水時使用できない可能性有)
  - : 役所
  - : 道の駅
  - ▲ : ヘリポート
  - ▲ : 水位観測所
  - △ : 危機管理型水位計
  - : 雨量観測所
  - : CCTV
  - : 簡易型監視カメラ
  - ▲ : 対空表示
  - : 主な宿泊施設
  - : 温泉街
  - : 国道・県道
  - : 高速道路
  - : JR・新幹線
  - : 緊急輸送道路(一次)
  - : 緊急輸送道路(二次)
  - : 土砂災害警戒区域  
■ : 特別警戒区域
  - : 津波浸水想定区域
  - : ため池決壊浸水想定区域
  - : 高潮浸水想定区域

- 凡例**
- [ 洪水浸水想定区域 (想定最大規模) ]  
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)
- : 0.5m未満の区域
  - : 0.5m~3.0m未満の区域
  - : 3.0m~5.0m未満の区域
  - : 5.0m~10.0m未満の区域
  - : 10.0m以上の区域
  - : 20.0m以上の区域
  - : 直轄河川管理区間
  - : 県河川管理区間 (水位周知区間)
  - : 県河川管理区間 (水位周知区間外)



# ■流域治水プロジェクトの推進(2)【菊池川河川事務所、熊本県河川課】

## ■「くまもと流域治水プロジェクト」の住民向けパンフレット作成・啓発活動

○流域治水の取組の更なる推進を目的に、菊池川河川事務所、熊本河川国道事務所、八代河川国道事務所で「くまもと流域治水プロジェクト」のパンフレットを作成。防災イベントでの展示等による、流域治水の啓発活動を実施。

### 【くまもと流域治水プロジェクト】

くまもと流域治水プロジェクト

くま川くん くま川くん くまモン しろ川くん みどり川くん

みんなで支え守るわたしたちの命とまちを

住民も企業も行政も みんなで力を合わせるよ

みんなで助け合って みんなの命をまもるんだ



イベント展示による流域治水の啓発活動

■防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

- 「くまもとマイタイムライン防災教育モデル授業」を県内の小・中学校（計20校）で実施したほか、教職員向け研修会を開催。
- くまもとマイタイムライン専用WEBサイトや作成支援動画について、県政広報媒体や防災講話等で周知。
- 地域の防災リーダーの育成及びスキルアップを支援するため、火の国ぼうさい塾や地域防災リーダースキルアップ研修等を実施。



マイタイムライン専用WEBサイト、作成支援動画

防災教育事業



(甲佐町でのモデル授業)



(教職員向け研修会)

地域防災リーダー  
スキルアップ研修



# ■水防学習・教育の推進(1) 【熊本県危機管理防災課】

## ■防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

- 令和5年5月17日に「県防災センター」の運用を開始した。
- 防災センター1階の「展示・学習室」においては、事前申込により防災研修を実施。
- 「防災体験デーin熊本県防災センター」を児童・生徒の夏休み期間や週休日等に開催。

### 【防災センター展示・学習室の概要】

開館時間 午前9時から午後5時まで  
 休館日 土・日祝日・年末年始  
 入館料 無料



### 【展示・学習室における防災研修実施】

希望する団体に対し事前申込により防災研修を実施。  
 内容・・・展示パネル等の見学及び防災講話  
 講話テーマ 自助・共助に関する全8テーマ  
 (例)作ってみよう「くまもとマイタイムライン」  
 防災リーダーの役割と自助意識を高めるために  
 令和5年12月末までに1,376名が研修受講。



高校生が見学する様子



自主防災組織への防災講話の様子

### 【防災体験デーin熊本県防災センターの開催】

令和5年8月から令和6年1月までの間に、以下の通り全8回防災イベントを実施。  
 ・子ども向け 3回(防災クイズや工作等)  
 ・「防災の日」等の防災関連記念日 3回(クロスロード等)  
 ・その他 2回(防災とアウトドア、防災と収納術)



子ども向け防災体験デーの様子

防災体験DAY  
 熊本県防災センター  
 参加無料  
 定員50名(先着順)  
 防災関連記念日にもなみ、全3回実施  
 9/1 14:00-18:00  
 11/11 14:00-18:00  
 1/14 14:00-18:00  
 申し込み方法  
 13:00 申込  
 14:00 受付  
 14:30 体験活動開始  
 15:00 防災ミニレクチャー  
 15:30 アンケート実施  
 16:00 体験活動参加者アンケート  
 16:30 受付閉場  
 096-345-2727

# ■災害発生を想定した事前準備【共助】(1) 【熊本県河川課】

## ■出水期前のホットライン訓練（洪水・土砂災害）など、関係機関が連携した定期的な水防訓練の実施

○毎年、出水期前に県管理河川における出水時の情報伝達訓練を実施

○令和5年度は南関町を流れる関川について、同町と訓練を実施

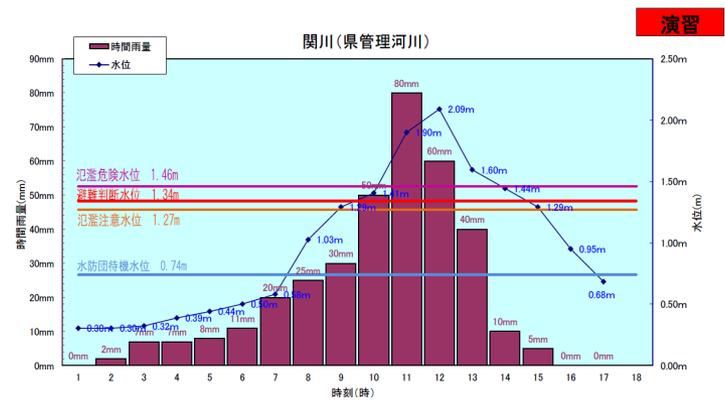
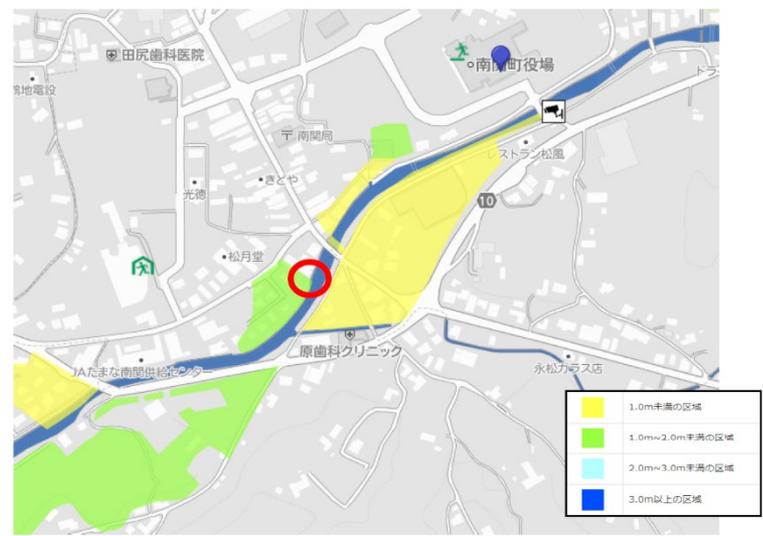
関川洪水対応演習シナリオ表

熊本県河川課  
令和5年5月12日(金)

※県玉名一玉名地域振興局土木部

時間	情報の種類	伝達内容	伝達ルート		伝達手段	様式	備考
			発信	着信(経路)			
9:30	大雨洪水警報発令	演習開始	整備局	河川課→県玉名→南関町	メール	任意	
9:40	氾濫注意水位(1.27m)突破 (電瀬橋観測局)	南関町へ通知、水防団待機・出動、パトロール開始	県玉名	南関町、河川課	メール	水防警報様式 (出動)	
10:30	避難判断水位(1.34m)突破	避難判断水位到達 水位情報の通知・周知	県玉名	南関町、河川課	メール	水防警報様式 (警戒)	
10:40	水位がさらに上昇の見込みであるため 南関町長より避難勧告発令の報告		南関町	県玉名→河川課	NTT電話	口頭	
11:00	氾濫危険水位(1.46m)突破	厳重警戒情報(氾濫危険水位到達) 水位情報の通知・周知	県玉名	南関町、河川課	メール	水防警報様式 (厳重警戒)	
	水防警報発表(第3報)						
	ホットラインの実施						首長へ警戒情報(氾濫危険水位到達)
	出水状況報告(第1報)	11:00に氾濫危険水位を突破し、さらに上昇中	河川課	整備局 (地域河川課)	メール	出水様式一総括	
11:20	災害情報(速報)	南関町関町(16k800)付近で堤防より越水発生	南関町	県玉名→河川課	NTT電話	口頭	
	被害情報報告(第1報)	ホットラインにより本省と整備局に直接連絡	河川課	本省 (河川課環境課) 整備局 (地域河川課)	マイクロ	口頭	
11:40	出水状況報告(第2報)	水位状況報告	河川課	整備局 (地域河川課)	メール	出水様式一総括	
	被害情報報告(第2報)	南関町関町(16k800)付近で堤防より越水発生	河川課	整備局 (地域河川課)	メール	出水様式-1(1) 出水様式-1(2)	
12:55	南関町より関川 右岸16k800付近の堤防決壊報告	堤防が決壊、増破の恐れあり	南関町	県玉名→河川課	NTT電話	口頭	
13:00	災害支援要請	整備局 地域河川課へ排水ポンプ車(30m3/分)を1台の支援要請	河川課	整備局 (防災課)	FAX (マイクロ)	九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定書別紙-1	
13:10	出水状況報告(第3報)	水位状況報告	河川課	整備局 (地域河川課)	メール	出水様式一総括	
	被害情報報告(第3報)	被害情報報告(氾濫情報、一般被害)	河川課	整備局 (地域河川課)	メール	出水様式-1(1) 出水様式-1(2)	
13:30	災害支援	(災害支援要請に対する回答)	整備局	河川課	FAX (マイクロ)	九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定書別紙-2	

演習シナリオ(抜粋)



# ■災害発生を想定した事前準備【共助】(1) 【熊本県河川課】

## ■高齢者等の災害時要配慮者を対象とした避難確保計画の作成、訓練の検討、実施

### 【全県的な取組み】

○県内全ての要配慮者利用施設が早期に避難確保計画を作成するよう、施設管理者を対象に以下の取組を実施。その結果、本県の計画作成率（洪水）は2.9%（H31.3月）から96.8%（R5.9月）に向上

- ・避難確保計画について、計画作成支援動画を作成し、Youtubeで公開
- ・施設が容易に自施設の浸水深を確認できるよう、県ホームページ（防災情報くまもと）にて情報を公開

### 県ホームページ(防災情報くまもと)の改修内容

### YouTubeで動画公開

防災情報くまもと  
Kumamoto Disaster Prevention Portal

地点をクリックすれば、浸水の原因となる河川ごとの浸水深が確認可能

ハザードマップ  
※浸水想定区域の洪水情報表示時、ハザードマップの浸水想定区域をクリックすると

浸水想定区域  
洪水  
津波  
高潮

観測情報  
河川水位情報

ため池  
ため池情報

土砂災害警戒区域・特別警戒区域（R2.6月時点）  
指定浸潤所  
土石流

地域名,住所を入

洪水浸水想定	浸水深	
緑川：国管理	5.0～10.0m	
加勢川：国管理	3.0～5.0m	
御船川：国管理	3.0～5.0m	
木山川	3.0～5.0m	1日～3日未滿
矢形川	3.0～5.0m	1日～3日未滿

観測局  
緑川 網津、城南、上揚、津留、中甲橋  
加勢川 大六橋  
御船川 御船、県御船  
木山川 赤井、県津森  
矢形川 神掛橋、落合橋、嘉島

洪水及び土砂災害を想定した要配慮者利用施設

災害発生共有

洪水注意情報  
洪水注意水位到達

注意

大雨注意報  
洪水注意報

警戒

避難指示

緊急安全確保

## ■ 下流部の洪水氾濫、高潮災害、土砂災害等における安全な避難の実施に向けた広域避難計画の検討、整備

- 広域避難に対する理解を深めてもらうとともに、風水害や土砂災害に関する知識を改めて身につけてもらうため、市町村職員向けの研修会を実施。
- また、令和4年度に県が作成した「大規模水害における広域避難計画作成モデル」を踏まえ、各市町村において、広域避難の必要性等を検討するためのワークショップを実施。

### 大規模水害時における広域避難実施に向けた研修会

- 熊本大学から「熊本地域の風水害の特徴」に関する講義や「都市水害の仕組みと防災対策」に関するデモンストラーションを実施。
- 福岡管区气象台から「段階的に発表する防災気象情報」について説明。
- 令和4年度に熊本県が作成した「大規模水害時における広域避難計画作成モデル」の概要を説明。

(研修会の様子)



### 大規模水害時における広域避難実施に向けたワークショップ

- 県内を4ブロック（県北・県央・県南・天草）に分け、計4回ワークショップを開催。
- 各市町村において、要避難者数や避難所の収容力を算出し、広域避難の必要性について検討。
- 広域避難が必要な市町村は、広域避難実施に向けた検討を行い、広域避難の必要がない市町村は、広域避難者の受入に向けた検討を実施。

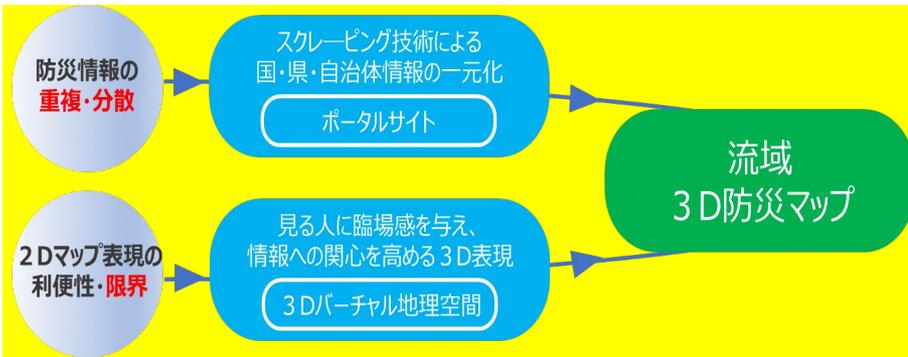
(ワークショップの様子)



# ■防災情報の提供【平常時の情報】(1)【玉名市・山鹿市・和水町】

■ 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び時系列氾濫シミュレーションの策定、公表、ハザードマップポータルサイトへの公開及び水位周知河川追加等の検討

○ 令和5年9月4日から、防災・災害情報を迅速、的確に届けるため、熊本県の「令和5年度DX実証事業」を活用して、菊池川流域の防災・災害情報を確認できる「熊本県菊池川流域3D防災マップ」の提供(実証)を開始した。

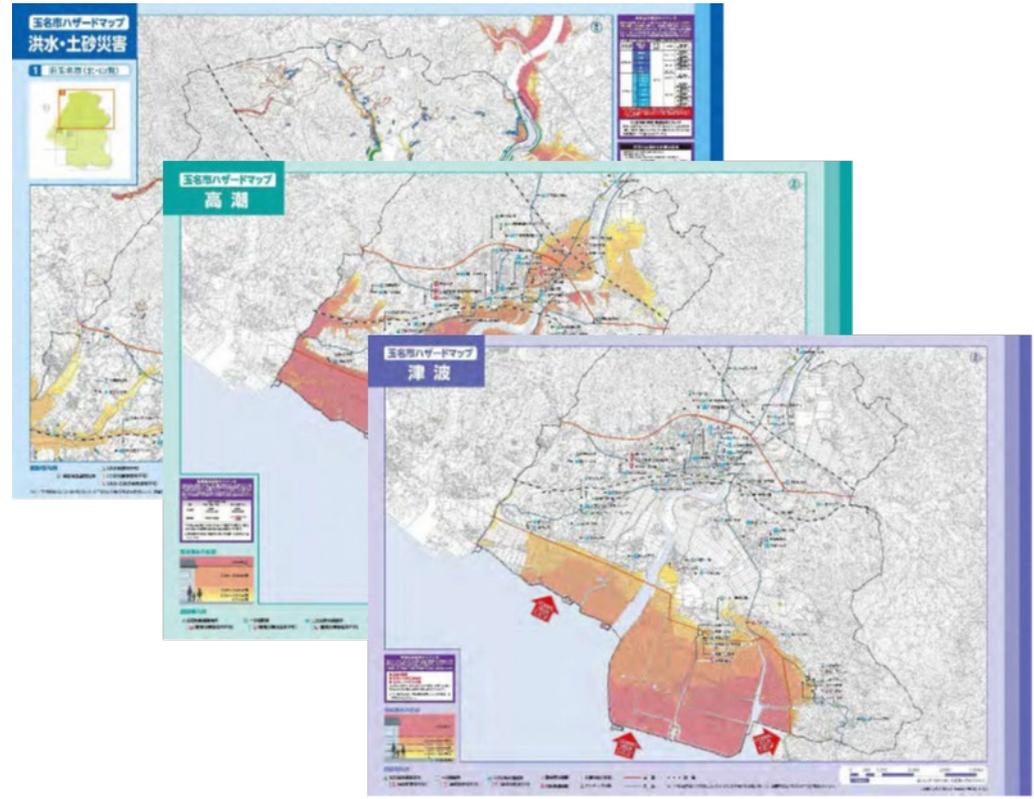


<https://3dbousai.4dlink.com/kumamoto>

# ■防災情報の提供【平常時の情報】(1) 【玉名市】

## ■ 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

○ 令和5年度に、従来の、洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップ及び高潮ハザードマップの情報を更新し、一冊にまとめた玉名市総合防災マップを作成中（令和6年5月頃配布予定）



# ■水防学習・教育の推進(1) 【荒尾市】

## ■ 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

○令和5年9月3日（日）に荒尾総合文化センターにおいて開催した防災フェスタにおいて、降雨体験及び浸水ドア体験コーナーを開設し、来場した子供たちに水防に関する学習の一環として実体験させた。また、防災グッズや食料品の事前準備を促す啓発活動を行った。



浸水ドア体験



降雨体験



協定締結企業による備蓄品の啓発活動



任意団体による防災グッズの啓発活動

# ■ 災害発生を想定した事前準備【共助】(1) 【荒尾市】

## ■ 高齢者等の災害時要配慮者を対象とした避難確保計画の作成、訓練の検討、実施

○令和5年11月12日（日）の荒尾市総合防災訓練において避難行動要支援者の避難支援訓練を実施した。



避難所における要支援者の健康管理指導



避難所における要支援者の健康管理指導

# ■ 災害発生を想定した事前準備【共助】(1) 【荒尾市】

## ■ 地域の防災リーダー育成の支援を実施

○地域防災リーダー育成のため、令和5年10月14日、15日、29日に長洲町、大牟田市と合同で防災士養成講座を実施した。また、9月10日に防災士交流会を開催し、情報共有や意見交換を行った。



防災士養成講座



防災士交流会

## ■水防学習・教育の推進(1) 【菊池市】

### ■ 小中学校における水災害教育等の実施及び共通テキスト検討、作成、避難確保計画を作成、避難訓練を実施

- 令和5年9月22日に、菊池市の菊池南中学校で防災現地学習を行った。
- 防災マップを活用し、危険箇所や避難場所の確認を行った。



校外にて防災マップを活用しての現地学習

## ■災害発生を想定した事前準備【共助】(1) 【菊池市】

### ■地域の防災リーダー育成の支援を実施

- 令和5年1月から2月に、市民向けの防災講座を実施。
- 熊本県の防災士アドバイザーを菊池市より2名登録。



地域自主防災組織に対してマイタイムライン作成研修会

# ■水防学習・教育の推進(1) 【合志市】

## ■ 防災に関する持続性のあるイベント等の企画、実施

○堀川に隣接する行政区を対象に、地震発生に伴う火災の発生及び福祉避難所開設訓練を内容とした総合防災訓練を開催。堀川の水を活用し消火活動を行う訓練を実施した。



○ hidroサブシステムを活用し河川から水をくみ上げる



○水位が30cm程あれば揚水可能



○ hidroサブシステム＋消防署＋消防団で協力し消火活動



○ hidroサブシステムからの放水



○ hidroサブシステム＋消防団の放水

消火活動・展示のイメージ  
(須屋浄化センター跡地)



バトカー展示

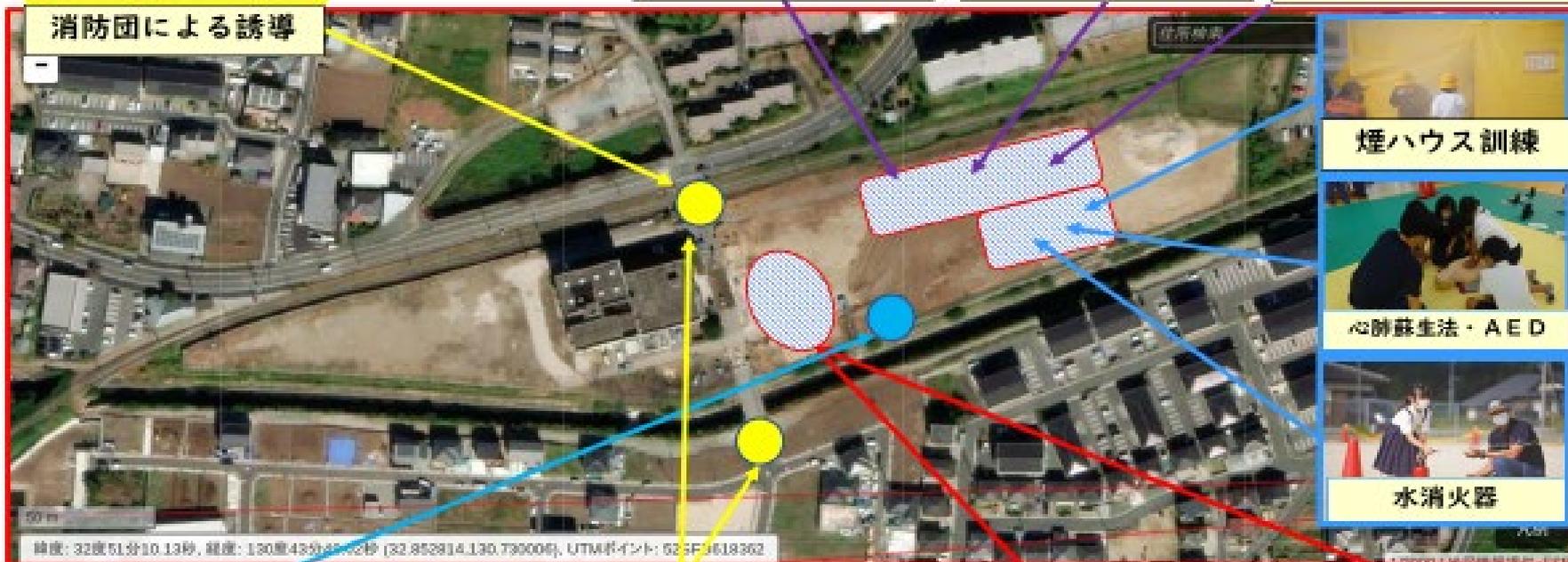


消防車展示



装甲車展示

消防団による誘導



煙ハウス訓練



心肺蘇生法・AED



水消火器



ハイドロサブシステム



交通制限(統制)



高所作業車から放水



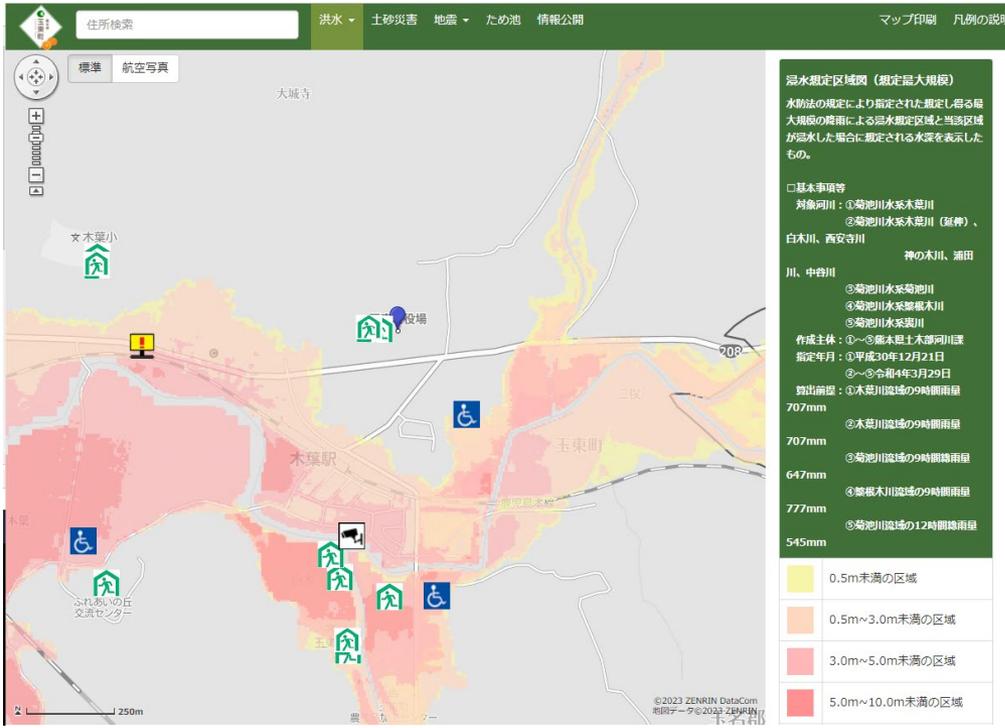
西署と13分団

# ■防災情報の提供【平常時の情報】(1) 【玉東町】

## ■ 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

- いざという時に、どこに居ても携帯電話やタブレット端末等のデジタル端末から最新の防災情報を取得することができる「玉東町総合防災マップ（Web版）」を構築。令和5年5月から町ホームページにアップし周知を図った。
- 町内5つの「指定緊急避難場所」の場所について、町民に分かりやすくするため、案内看板を設置。この看板は、夜間でも光って表示する、特殊な材料（蓄光）で作られている。

○玉東町総合防災マップ(Web版)



○案内看板



夜間



# ■水防の学習・教育の推進(1) 【長洲町】

## ■防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

○防災フェアの開催、小学生を対象にJr.防災リーダー塾の開催、地域の防災リーダーとなる人材育成のため長洲町・荒尾市・大牟田市と合同で「防災士養成講座」を実施した。

○また、B&G財団より配備された機材を使用して、有明行政事務組合消防本部や消防団と合同で訓練を行った。



【第36回金魚と鯉の郷まつり 防災フェア】

【Jr.防災リーダー塾】

【消防本部や消防団との重機を使った訓練】

## ■防災情報の提供【平常時の情報】(1) 【和水町】

- 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

○令和5年6月に、『和水町総合防災マップ』を更新・作成し、全世帯に配布。

○令和5年度に、『和水町総合防災マップWEB版』を作製。



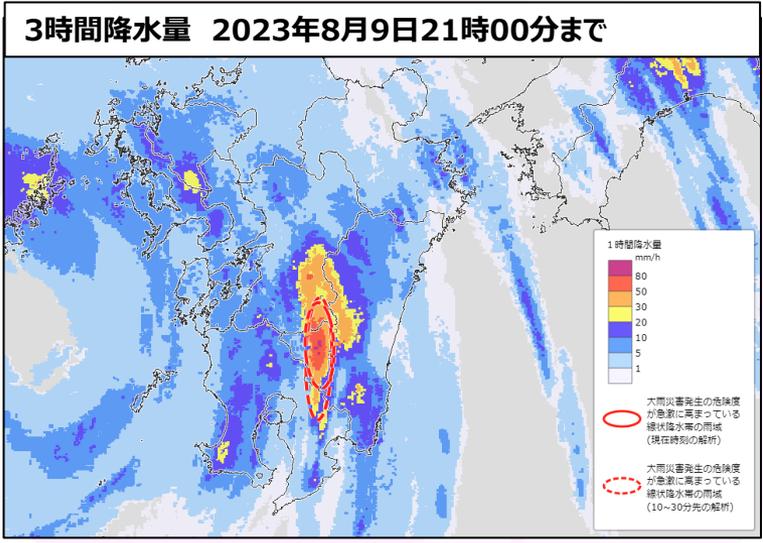


# ■防災情報の提供【災害時の情報】(1) 【熊本地方気象台】

## ■ 予防的避難など住民の自主避難につなげるため、熊本地方気象台からの情報提供の充実【線状降水帯による大雨の半日程度からの呼びかけ】

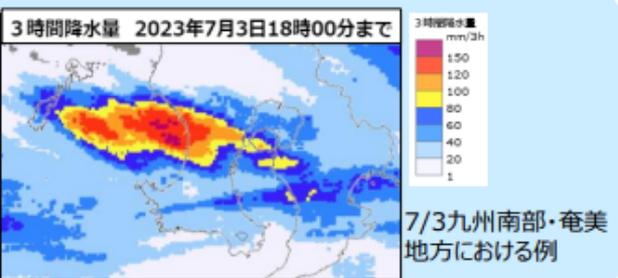
- 気象庁では、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使ってその旨を呼びかけている。
- 線状降水帯は予測が難しい現象であることから、現状では、「〇〇地方」といった広域での呼びかけを行っている。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したとき、実際に大雨となる可能性が高いことから、**この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。

	運用開始前の想定 (令和元年～3年のデータから検証)	令和5年 (9月29日時点)
<b>適中</b> 線状降水帯発生呼びかけ「あり」のうち 線状降水帯の発生「あり」	4回に1回程度	<b>22回中9回</b>
<b>見逃し</b> 線状降水帯の発生「あり」のうち 線状降水帯発生呼びかけ「なし」	3回に2回程度	<b>23回中14回</b>



- 線状降水帯発生呼びかけを行った22回中、実際に線状降水帯が発生したのは9回であるが、それ以外にも、
    - ・ 3時間降水量が150mm以上となった事例が3回
- あることから、**この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。

線状降水帯の発生に至らなくても大雨(3時間降水量が150mm以上)となった事例



- 線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表します。(令和5年5月25日以降)
- ① 前3時間積算降水量(5kmメッシュ)が100mm以上の分布域の面積が500km<sup>2</sup>以上
  - ② ①の形状が線状(長軸・短軸比2.5以上)
  - ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
  - ④ ①の領域内の土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)において土砂災害警戒情報の基準を超過(かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上)又は洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)において警報基準を大きく超過した基準を超過

■令和5年度の実績(7月まで)

線状降水帯の発生日 <sup>※1</sup>	地方予報区	線状降水帯の発生状況	呼びかけ状況	3時間降水量最大値 <sup>※2</sup>
3月22日	沖縄地方	線状降水帯が発生(沖縄県)	呼びかけできず	約190ミリ
6月2日	中国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約60ミリ
	四国地方	線状降水帯が発生(高知県)	呼びかけを実施	約200ミリ
	近畿地方	線状降水帯が発生(和歌山県、奈良県)	呼びかけを実施	約170ミリ
	東海地方	線状降水帯が発生(三重県、愛知県、静岡県)	呼びかけを実施	約170ミリ
	関東甲信地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約120ミリ
6月2日~3日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生(鹿児島県)	呼びかけできず	約170ミリ
6月19日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生(鹿児島県)	呼びかけできず	約250ミリ
6月20日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約130ミリ
6月30日~7月1日	九州北部地方	線状降水帯が発生(山口県)	呼びかけを実施	約160ミリ
7月1日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生(鹿児島県)	呼びかけできず	約250ミリ
7月2日	九州北部地方	線状降水帯が発生(熊本県)	呼びかけできず	約200ミリ
7月3日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約170ミリ
7月3日~4日	中国地方	線状降水帯が発生(島根県)	呼びかけできず	約160ミリ
7月8日	九州北部地方	線状降水帯が発生(福岡県、佐賀県、大分県)	呼びかけできず	約190ミリ
7月10日	北陸地方	線状降水帯が発生(石川県、富山県)	呼びかけできず	約200ミリ
7月12日~13日				



地方予報区(全国を11ブロックに分けた地域)

令和5年台風第6号に関する熊本県気象情報 第5号  
 令和5年8月8日 11時57分  
 熊本地方気象台発表

台風第6号は、9日昼前から夕方にかけて熊本県に最も接近する見込みです。暴風、土砂災害に厳重に警戒し、うねりを伴った高波、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。また、九州北部地方では8日夜から9日夜にかけて線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

半日前からの呼びかけの例

※1 線状降水帯の発生がなかった場合は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの対象日。  
 ※2 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準の1つである前3時間積算降水量最大値が150mm以上を着色。なお、10~30分先に基準を満たすとして同情報を発表した場合、実際には前3時間降水量積算値が150mmに達しないことがある。

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけが適中した事例。

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけができず、熊本県で線状降水帯が発生した事例  
 (7月3日6時20分~3日9時の間に熊本地方・阿蘇地方で16回判定、7月3日13時20分~14時の間に熊本地方で5回判定)

# ■防災情報の提供【災害時の情報】(1) 【熊本地方気象台】

## ■令和5年度の実績(8~9月)

線状降水帯の発生日※1	地方予報区	線状降水帯の発生状況	呼びかけ状況	3時間降水量最大値※2
8月6日	沖縄地方	線状降水帯が発生(沖縄県)	呼びかけを実施	約140ミリ
8月5日~8日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約130ミリ
8月9日~10日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生(鹿児島県、宮崎県)	呼びかけを実施	約190ミリ
	九州北部地方	線状降水帯が発生(熊本県、大分県)	呼びかけを実施	約150ミリ
8月10日	四国地方	線状降水帯が発生(高知県、愛媛県)	呼びかけできず	約180ミリ
8月12日	東北地方	線状降水帯が発生(岩手県)	呼びかけできず	約150ミリ
8月15日	四国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約100ミリ
	中国地方	線状降水帯が発生(鳥取県、岡山県)	呼びかけを実施	約160ミリ
	近畿地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約190ミリ
	東海地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約190ミリ
	関東甲信地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約90ミリ
9月6日	四国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約60ミリ
	北陸地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約90ミリ
9月6日~7日	東海地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約90ミリ
	関東甲信地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約50ミリ
9月8日	関東甲信地方	線状降水帯が発生(東京都、千葉県、茨城県)	呼びかけを実施	約250ミリ
	東北地方	線状降水帯が発生(福島県)	呼びかけできず	約250ミリ
9月14日	九州北部地方	線状降水帯が発生(長崎県)	呼びかけできず	約170ミリ
9月15日	九州北部地方	線状降水帯が発生(長崎県)	呼びかけできず	約140ミリ
9月21日	近畿地方	線状降水帯が発生(奈良県、和歌山県)	呼びかけできず	約200ミリ



地方予報区 (全国を11ブロックに分けた地域)

令和5年台風第6号に関する熊本県気象情報 第5号  
 令和5年8月8日 11時57分  
 熊本地方気象台発表

台風第6号は、9日昼前から夕方にかけて熊本県に最も接近する見込みです。暴風、土砂災害に厳重に警戒し、うねりを伴った高波、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。また、九州北部地方では8日夜から9日夜にかけて線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

※1 線状降水帯の発生がなかった場合は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの対象日。  
 ※2 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準の1つである前3時間積算降水量最大値が150mm以上を着色。なお、10~30分先に基準を満たすとして同情報を発表した場合、実際には前3時間降水量積算値が150mmに達しないことがある。

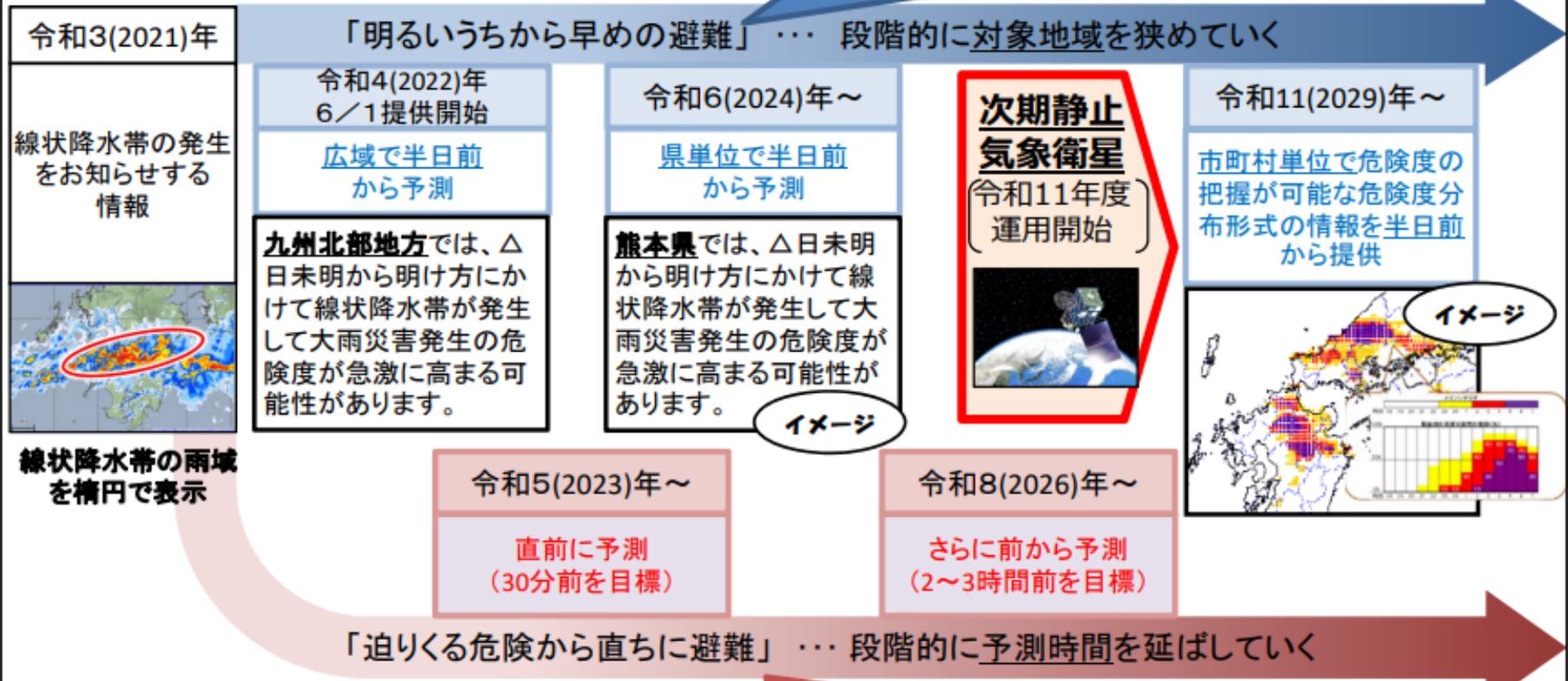
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけが適中した事例。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行い、熊本県で線状降水帯が発生した事例 (8月9日20時50分~9日21時20分の間に球磨地方で4回判定)

半日前からの呼びかけの例

# ■防災情報の提供【災害時の情報】(1)【熊本地方気象台】

## 情報の改善

・線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



・線状降水帯の雨域を表示

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

住民に危機感を伝え、防災対応につなげていく

# ■防災情報の提供【災害時の情報】(1) 【熊本地方気象台】

市町村における地域防災支援のための気象解説について、Web会議を活用した定期的な気象解説、および悪天時の常時接続等の実施により改善

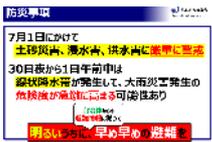
**目的：気象台の危機感を伝えるとともに防災対応に役立てていただく**

## 既存取組

警報級の可能性[高]の  
Web気象解説

台風説明会

記者会見  
(河川国道との合同含む)



自治体、関係機関、報道

## 新規取組 ( R5 ) R5.6.9~

定期的なWeb気象解説  
毎週金曜11:30~

**当日スケジュール**

- ~10時 開催案内(解説内容・URL)
- ~11時半 資料送付
- 11時30分~定時気象解説
- 終了次第 YouTube動画を限定公開

- 解説内容
- ・季節に応じた天気の見通し
  - ・要望に応じた気象知識
  - ・地震火山に関する知識

予報官

危機感の共有

自治体、関係機関

**悪天時 常時接続**



臨時のWeb気象解説  
(悪天時常時接続)

**解説内容**

- ・天気の見通し(現象のピークなど)
- ・警報等発表の見通し
- ・警報等解除の見通し

自治体担当

予報官

熊本県が行う令和2年7月豪雨を教訓に防災担当職員の対応能力向上および関係機関との連携強化を図る豪雨対応訓練への参加協力

年間スケジュール

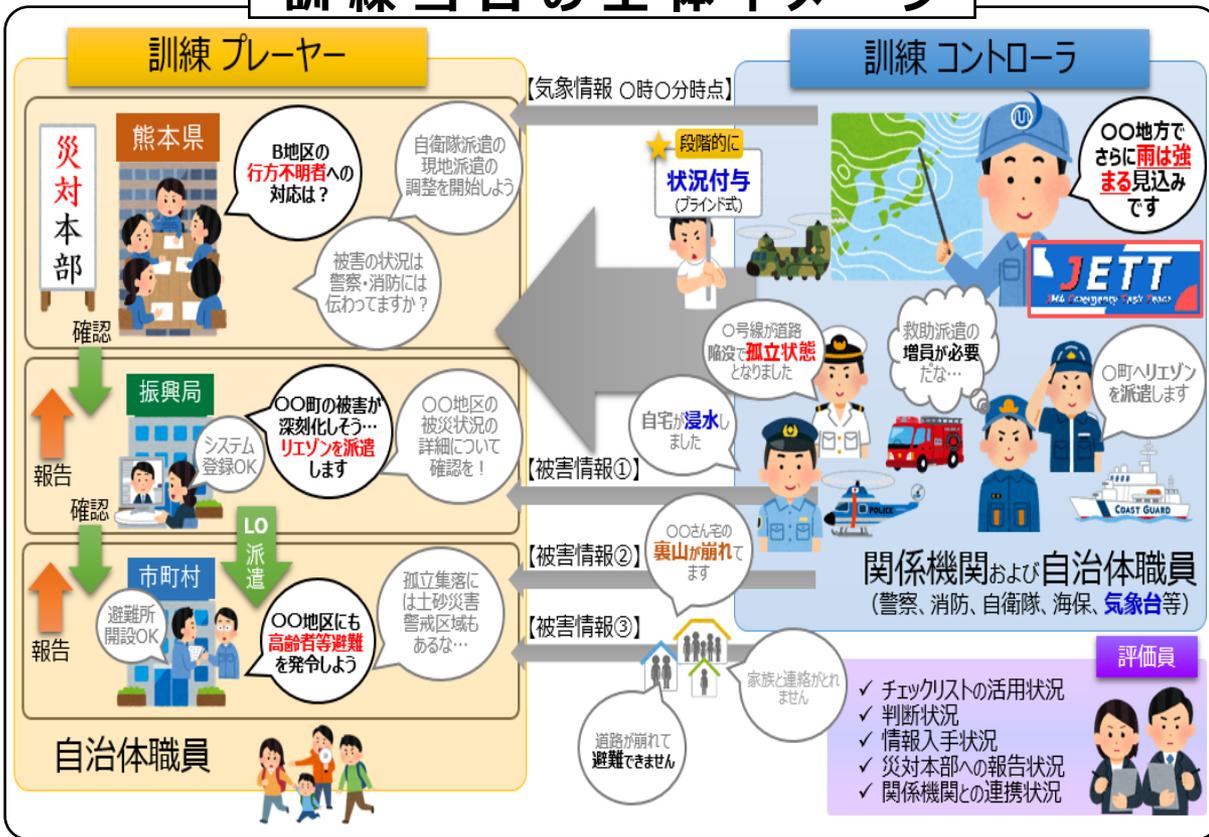
月	予定
9	市町村・関係機関向け周知
10	日程調整
11	訓練計画作成
12	訓練シナリオ細部調整
1	①豪雨対応訓練
2	②③豪雨対応訓練
3	(人事異動期のため休止)
4	④豪雨対応訓練
5	⑤⑥⑦豪雨対応訓練

参加対象市町村に応じた気象状況資料を作成

《訓練毎の対応》

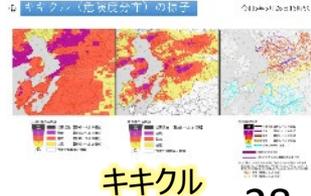
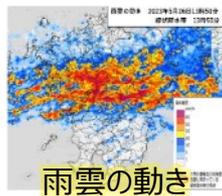
- コントローラ説明会
- 全体説明会
- 訓練
- 振り返り(即時)
- 訓練検証会

訓練当日の全体イメージ



気象台の役割

- ✓ 訓練シナリオ(詳細)作成に関わる助言
- ✓ 参加市町村に特化した付与資料(防災情報等)の作成
- ✓ コントローラとして訓練参加



■報道機関を通じた避難情報等において確実な住民の行動を促すための情報提供の方法の検討・実施

- 毎年出水期前に報道機関を対象とした気象連絡会を実施
- 11機関19名が参加（令和5年5月25日）



対面形式とWeb形式を併用し、以下の内容に関して報道機関に対して説明を実施。  
（令和6年も5/23実施）

- 梅雨から夏の天候の見通し
- 防災気象情報の改善
- 阿蘇山の火山活動状況
- 熊本県の地震活動
- 意見交換

令和5年度の開催の様子